



**手づくり玩具
で保育園訪問**

津中三年生は、家庭科保育の授業で、幼児と実際にふれあつて心身の発達を考えた遊びや関わり方を学ぶため、幼い頃遊んだおもちゃを思い出し、喜び、興味を示したり、喜んでもらえるおもちゃを考えたりしながら、おもちゃ作りに挑みました。

そして、二月四日できあがつたおもちゃを持って、全員で津奈木保育園を訪問し、園児とふれあいました。生徒の感想は、「慣れるまでは大変だった」「楽しかった」「かわいかった」「また遊びたいと思った」「一時間では短かすぎた」などでした。

少子化で、乳幼児と身近にふれあう機会も難しくなりましたが、これもまた教育現場に委ねられた課題の一つではないでしょうか。

一言

夫を病気で亡くし早くも十七年が経ちました。末の子供が五年生で、父を一番必要な年齢です。どうしようか？途方に暮れました。私が弱気ではいけないと、この子には淋しい思いはさせまいと必死で働きました。幸か不幸か兄弟の力をかりました。勿論、行政や地域の皆様にもお世話になりました。人の道はずさなげに念じながら過ごした十七年です。子供達もそれぞれの道を歩いてくれています。母子会に入会しお金では得たい多くのメリットが有ります。人との出会いです。楽しい事もあります。○三年で母子家庭が一二万世帯にもなりました。悲しい事です。若いお父さんお母さん絶対に子供を一人親にしないで下さい。子供が苦勞します。母子家庭が増えないことを念じながら……。

秩父宮妃殿下御歌
あらし世の風に堪へつ、
手ひとつに
子をそだてゆく
母に幸あれ
母子会々長 草野睦子



「重盤岩眼鏡橋」

津奈木中3年 浦口 知佐



「道」

平国小学校6年 福山 侑里

子ども美術館 (30)

(十六年度文化協会奨励賞作品)

平成16年度 津奈木町 (御案内) 生涯学習フェスティバル

手をつなぎ
学ぶ楽しさ
生かす喜び

(津奈木町生涯学習キャッチフレーズ)



生涯学習として町民講座や自主的な文化活動に頑張っておられる方々の1年間の学習の成果を発表します。また、町内小学校児童の太鼓や劇なども行われます。皆様のご来場をお待ちしております。

発表部門

2005年3月6日(日) 12:30開場/13:00開演

展示部門

2005年3月2日(水) 9:00→17:00

→3月6日(日)

※ただし6日は9:00→16:00

開催場所

つなぎ文化センター

◎主催/津奈木町公民館

津奈木町教育委員会

tel0966-78-5400 FAX0966-68-4945



生徒に語りかける講師

先日(二月二十四日)津奈木中生徒と保護者を対象にして「元気の元」になるような講話がありました。講話の初めごろは中学生も講師の元気な声に圧倒されていました。が段々講話が進むにつれて生徒達も講師の話に吸いこまれて熱心に聴いていました。

大畑誠也氏(八代高校長) 力説されたことは「早起き」することによって朝食がおいしく食べられる。しかし定番の味噌汁とご飯を食べてくる生徒は少ないようです。当日の中学生は半分以上は食べてきていたようです。しかし、パンと牛乳・コーヒ等々でした。

その外「あいさつ」は大きな声であいさつすることが大切。「器は広く」学力をつけるのも食事を充分摂っていないと脳の働きも鈍い等々。現在の中学生に欠けているようなことを適切に話されていました。



津奈木中二年 小出優太

生きる力は食からスタート

大畑誠也氏(八代高校長)

新刊書案内

図書館新刊書紹介

対岸の彼女・たつたひと つのたからもの・英語をじゅげむみたいにおぼえちゃおう・日々ごはん・アルケミスト・ウィツシユリ

スト・ムジナ探偵局シリーズ①⑤・怪談レストラン③⑤・ダレンシヤン⑪⑫・バッテリー①⑥・マリア探偵社シリーズ①⑨・新シェラピメのぼうけん①④・パワーヨーガ・他多数入荷しました。

編集後記

「三月」のこえを聞くといろいろな思いが湧いてきます。皆様は如何でしょうか。

農家にとつては寒さに耐えて育ってきた玉葱は一気に出荷を迎えることになりました。また、お子さんをお持ちの家庭では卒業、入学、就職等悲喜こもごもですね。「終わりをければ総べて良し」の年度末にしたいものです。

意識を変えましょう

支え合う地域社会を目指して

行政改革が進む中で、私たち住民も意識改革が重要な課題となってきました。先ずは、希薄になった住民同士のつながりを取り戻す試みが強く望まれ、それぞれの地区で多くの取り組みが展開されるようになり、公民館活動の活発さを身近で感じられるようになり、高齡化社会になり、一人ひとりが元気に年を重ねる努力に迫られ、「一生現役」を目標に日々の生活を精進することが大切になってきています。その為にも、楽しみを持つ事はとても重要であり、また、培わ



年末のしめ縄づくり



出来上がった炭焼き窯

館報が結んだ

ホットな話題

前号(三六〇号)の「ここにこんな人が…」で紹介した林田アリエさんのもとに、去る一月二十五日、一通の封書が届きました。五十年前の出来事が綴ってあり、館報をご覧になって今迄思い続けてこられた感謝の気持ちに添えてお礼が入れられていました。林田さんは全く記憶にありませんでしたが、相手の方の思いを一番いい形に代えたいと社会福祉協議会を訪ね、地域福祉に役立ててほしいと申し出られました。五十年前の思い出に「こんな方がいらしたなんて…」と感動されていました。

生活作文

「すききらいなし」

津奈木小四年 濱田雅士
ぼくは、魚と肉がすきです。でも魚をとるには、大変なことがいっぱいあるんじゃないかと思えます。それに、魚や牛や豚やとりは生きものだからのこさずに食べます。

ぼくは、すききらいは、しません。なぜかというと、ほかの国は、ごはんを食べられないところもあるからです。でもゴーヤは、ちよつとにがでだけ食べられます。

「畜産について」

津奈木小四年 志崎琢弥
ぼくは、畜産のことは、よくしりません。でも動物を育てることはしっています。

ぼくが登校するときに、牛と馬をかつているところを見ている人がすごいいなあと思いました。それからぼくは、そこをもうくさいと言葉にだしたり思ったりしないうになりました。これからは畜産のことをしりたいと思いました。



もし、すききらいする人がいたらこういいたいです。「すききらいはだめだよ、ちゃんと食べないと」と、言いたいです。ぼくは給食をあまりのこしたことはありません。それは、給食のおばちゃんよりうまいからです。ぼくのクラスは、給食をへらす人が多いいです。ぼくは、なぜ給食をのこすのだからかとおもいます。

元気いっぱい

平松昭子さん(75)

文化センターで、健康ダンスの練習日にお邪魔しました。平松さんは、多趣味でフラダンス、三味線、民謡、ゴルフをされています。ダンスは最年少五十歳から最年長七十五歳の方々と和氣藹々、楽しんでいます。三味線は六十歳から始めて十数年のキャリアが



健康ダンス練習

あり、敬老会や老人ホームへの慰問は欠かさず、練習にも一層熱が入っていくことでしょう。ゴルフはご主人と二ヶ月に一回出掛け、大自然の中でのプレーを満喫されている様子。スポーツウーマンらしいナイスショットが想像できます。人のお世話も大好きで、三

十代後半から民生委員として、あたたかな地域づくりに三十四年間も積極的に活動され、今でも地域の方と密着されています。子供さんが、忙しく動き廻っているお母さんを気遣ってくれるそうですが、ご本人は色んな事にチャレンジするのが楽しくてたまらない性分だとか。このようにエネルギーに溢れる源は、鹿児島県大口市から知らない土地に嫁ぎ、そこで何とかこの地に根ざしたいという強い願望の表れと、いつも前向きな発想にあるので



発表会(中央)

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

定年退職をし、早いもので四年になります。四人の孫にも恵まれ、にぎやかな正月を迎えることが出来ました。退職したら、好きなゴルフ、旅行等を楽しみながら、時々山の手入れや畑仕事で汗を流して、のんびり、ゆつくりと日々を送りたいと考えていましたが、現実には色々雑用に使われ、勤めていた時のようなストレスはないものの、何かと忙しく、思うようにならないこの頃です。

一昨年、ふれあいの店に出荷されている野菜づくりのベテランの人達が集う染



趣味の野菜づくり

節によつては、各隊員の菜

竹地区の野菜部会に、私達夫婦も参加させていただきました。この家菜つなぎ隊は、本町農林水産課と県北改良普及センターが推進され、毎月一回、会員が夫婦で集り、野菜づくりについて、町や県の技術担当者から説明があり、質疑応答の後、地区の畑で年間を通して、種子蒔から収穫までの実地研修が行われます。季節によつては、各隊員の菜

菜が生産者名や値段付けをし、販売して、町の人達との楽しいふれあいを体験することが出来ました。お陰で我家の小さな菜園では、三十品目以上の野菜が出来るようになりました。夏場の土耕し、うね作り、草取り等々厳しい作業でしたが、感謝しながら楽しく食しています。野菜を作る上で「土づくり」が一番大切なことが解つて来ましたので、今後は、EM菌、木酢液にもチャレンジし、安全でおいしい野菜づくりを目指したいと思っています。

「次回(笠)」
○オレオレ ○なるべくなら
一笠一句を 四月四日(月)迄
津奈木町教育委員会まで